

kizuna新聞は、南城市の学校と地域が連携した事例を広く市民に周知するために発行している広報誌です。

# Kizuna新聞



## 第26回ふるさと伝統芸能まつり

PTAや各支部と連携した、大里中学校の特色ある学校行事「ふるさと伝統芸能祭り」が行われました。

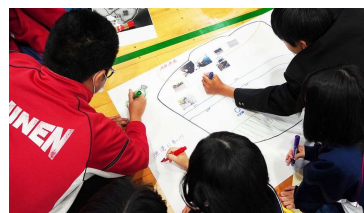
この行事は「ふる伝」の愛称で親しまれ、各支部（地域）に伝わる踊りやエイサーなどの芸能等を、夏休みの間、各支部ごとに1～3年の異年齢集団で練習しています。

本番では地域の方々もお招きし、大盛況となりました。連日指導をしてくださった保護者や地域の方々、本当にありがとうございました。

## 市民大学との連携授業

市内で環境美化活動に取り組む「なんじょう市民大学12期生・環境科チーム」が講師となり、自分の地域の環境について調べたことを落とし込んだ「ゴミMAP」を作成しました。

(知念中・環境の日・総合学習)

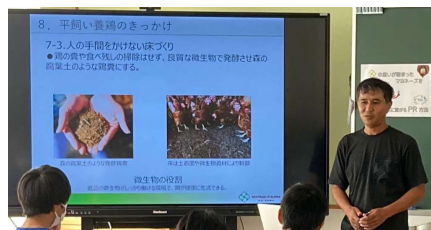


## 企業ミッション型PBL

企業から与えられたミッションを解決するPBL学習。生徒たちの斬新な発想に驚きました！

### 【参加企業】

- ユインチホテル南城 ○(有)長生薬草本社
  - イーストホームタウン沖縄株式会社
  - 沖縄メディカル病院 ○南城市おおごと子ども園
  - 沖縄県立玉城青少年の家 ○FC琉球
  - 南の往診獣医さん ○株式会社ヤブサチ
  - 株式会社みやぎ農園AgriPlan
- (佐敷中/大里中2年・総合学習)



## 朝時間の職業講話

朝の読み聞かせの時間を活用して、地域で働く人を招き講話を行っていただいています。

10月は英語通訳・翻訳者の仲真一樹さんが、映画翻訳の裏側や吹き替え版のアテレコの面白さなどを伝えてくれました。

11月はセラピストの仲村春香さんに、セラピストのお仕事の魅力とともに簡単にできるセルフケアを生徒達と一緒に実践していただきました。

(知念中1～3年・朝の読み聞かせ)



## 日本最古の民謡と世界の音楽を体験

日本各地や世界13カ国で日本最古の民謡「こきりこ節」などを演奏し、伝統的な音楽と新しい演奏の形を伝えている音楽家、中谷豪秀（アーティスト名：gamaOil）さんをお招きしました。



演奏を聴くだけでなく、世界の楽器と触れ合ったり、みんなでリズムを合わせてセッションを行ったりと、その日限りの音楽体験を楽しみました。  
(玉城中チャレンジルーム)

## 稲わらを使ったしめ飾り



稲作でとれた藁を使ってしめ飾り作りを行いました。地域の方を講師に迎え、難しい三つ縄に挑戦しましたよ。

(百名小/大里北小5年・総合学習)

## ハロウィン道ジュネー



船越小と玉城小の放課後子ども教室では、学童さんと合同で、仮装で地域を練り歩く道ジュネーを行いました。地域の方々からも菓子をたくさんいただきました。

## 海野漁港でセリの見学

知念漁業協同組合（代表理事組合長 内間学様、セリ長 眞榮城誠様）による海野漁港の案内とセリ見学を行いました。

サメに興味津々！

(佐敷小5年・総合学習)



## 学校と地域をつなぐお手伝いをしています

自分の得意なことで学校に貢献したい！こんな人を子どもたちに繋げたい！という地域の方、こんな授業をやってみたいけど地域の協力得られないかな？という学校の先生方、お気軽にお問合せください♪